

第7回一般廃棄物処理施設整備検討委員会

日時：平成30年1月10日（水）

午後1時30分～

場所：能代山本広域交流センター
第1研修室

次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 案 件

(1) 二次選定について

【資料1】

(2) 三次選定の評価項目について

【資料2】

(3) 今後の委員会スケジュールについて

【資料3】

4 その他

5 閉 会

第7回一般廃棄物処理施設整備検討委員会 配布資料一覧

- 資料1 二次選定について（案）
- 資料2 三次選定の評価項目について（案）
- 資料3 今後の委員会スケジュールについて（案）

二次選定について（案）

1. 二次選定の対象候補地

第6回検討委員会において、組合及び構成市町より情報提供があった17箇所の候補地から、一次選定の条件を満たしていない3箇所の候補地を除外し、14箇所を二次選定の対象候補地とした。

2. 二次選定の評価項目

第6回検討委員会において、二次選定における評価項目、配点及び評価基準を表1の通り設定した。二次選定では、一次選定の条件を満たした14箇所の候補地を比較評価し、数箇所程度の候補地に絞り込むこととした。

表1 二次選定の評価項目

区分	評価項目	配点	評価基準
法規制条件	①都市計画法（用途地域）	3	用途地域の指定区分等 3：都市計画区域外、非線引き都市計画区域、工業地域、工業専用地域 2：準工業地域 1：準住居地域、近隣商業地域
	②農地法、農振法	3	農業振興地域の指定、農地の利用状況 3：農業振興地域外 2：農業振興地域内 農用地外（白地） 1：農業振興地域内 農用地（青地）、農地
	③森林法	3	民有林（地域森林計画対象）、保安林指定等 3：森林法の対象外、民有林（地域森林計画対象外） 2：民有林（地域森林計画対象） 1：保安林（指定解除の見込みあり）
地形・地質条件	④地形の状況	5	土地造成のしやすさ（高低差） 5：ほぼ平坦地（高低差10m未満） 3：緩やかな傾斜地（高低差10m以上20m未満） 1：急峻な傾斜地（高低差20m以上）
	⑤地質の状況	5	軟弱地盤、液状化の可能性 5：軟弱地盤でなく、液状化の可能性は低い 3：軟弱地盤又は液状化の可能性は高い 1：軟弱地盤かつ液状化の可能性は高い
環境条件	⑥周辺住宅の立地状況	5	一定距離範囲内の住宅戸数 5：500m以内に住宅なし 3：500m以内に住宅1～10戸 1：500m以内に住宅11戸以上
	⑦教育、福祉施設等の立地状況	5	学校、保育所、病院、福祉施設等までの距離 5：1km以上 3：500m以上1km未満 1：500m未満

区分	評価項目	配点	評価基準
交通条件	⑧周辺道路の状況	5	通行の安全性(進入路等)、冬季対策(除雪・融雪) 5：通行の安全性、冬季対策とも支障はない 3：通行の安全性、冬季対策のどちらか支障あり 1：通行の安全性、冬季対策とも支障あり
	⑨収集・運搬効率	10	収集ごみ量×運搬距離(各市町の人口重心点からの距離) ・平均値を基準に10段階で評価
	⑩住民の利便性	5	各市町の人口重心点からの距離 ・平均値を基準に5段階で評価
防災面の条件	⑪災害対策(津波・洪水)	5	津波・洪水浸水想定区域等 5：津波・洪水浸水想定区域外 3：津波・洪水浸水深2m未満 1：津波・洪水浸水深2m以上
	⑫災害対策(地震)	5	活断層の有無、近接状況 5：活断層から500m以上 3：活断層から500m未満 1：活断層上にある
	⑬その他防災面(土砂災害)	5	周辺を含めた土砂災害危険箇所の状況 5：土砂災害危険箇所から100m以上 3：土砂災害危険箇所から100m未満 1：土砂災害危険箇所に指定
その他条件	⑭土地の取得性	3	土地の取得条件等 3：公有地(土地取得に条件なし) 2：公有地(土地取得に条件あり) 1：民有地を含む
	⑮文化財保全	3	埋蔵文化財包蔵地の状況 3：埋蔵文化財包蔵地外 2：敷地の一部が埋蔵文化財包蔵地 1：敷地の大部分が埋蔵文化財包蔵地
	合計	70	

3. 二次選定の評価結果(案)

14箇所の二次選定の対象候補地について、15の評価項目に基づき評価を行った結果、上位7箇所に絞り込み、三次選定の対象候補地とした。

三次選定の評価項目について（案）

1. 三次選定の評価方法

三次選定については、建設用地として経済性に関連する評価項目を設定し、比較評価を行い、二次選定の評価と合わせて、2～3箇所程度の有力候補地を選定する。

表1 二次選定及び三次選定の配点（案）

区 分	配点
① 二次選定の評価	70
② 三次選定の評価	30
合 計	100

2. 三次選定の評価項目（案）

三次選定の評価項目について、経済性の条件として関連設備の工事費、用地の造成費等を以下のとおり設定する。各候補地の点数については、候補地ごとの概算費用の合計により算出する。

表2 三次選定の評価項目（案）

区分	評 価 項 目	評 価 基 準	配点
経済性の条件	⑩関連設備の工事費（概算）※ ¹		30
	ア. 電気	電気の引き込み工事費	
	イ. 水道（地下水）	給水工事費	
	ウ. 排水	下水道接続（合併処理浄化槽整備）費用	
	⑪用地の造成費等（概算）※ ²		
	ア. 用地取得	用地確保に要する費用	
	イ. 敷地造成	敷地造成費	
	エ. その他	候補地の条件により、特別必要となる費用等	
計算例	候補地ごとに⑩・⑪の評価項目の概算費用を合計し、最も安価な候補地を30点とし、他の候補地の点数は以下により算出する。 30点×（最も安価な概算費用／当該候補地の概算費用）		

※1 ⑯関連設備の工事費

関連設備として、電気、水道（地下水）、排水のユーティリティに要する工事費を把握する。

ア. 電気

施設の稼働に必要な高圧電力（6.6kV）について、施設への引き込みに要する概算工事費。

イ. 水道（地下水）

施設の稼働に必要なプラント用水（必要水量 約 100 m³/日）等について、地下水や上水道の引き込みに要する概算工事費。

ウ. 排水

管理施設の排水設備について、下水道への接続、又は合併処理浄化槽の設置に要する概算工事費。

※2 ⑰用地の造成費等

建設用地を確保するための取得費、敷地造成及び取付道路整備に要する工事費等を把握する。

ア. 用地取得

用地確保に費用が発生する場合の概算取得費。

イ. 敷地造成

施設建設に必要な敷地造成工事、雨水排水工事、防災調整池工事等に係る概算工事費。

ウ. 取付道路整備

公道から施設までの取付道路整備に要する概算工事費。

エ. その他

候補地の条件により、特別必要となる費用等。

今後の委員会スケジュールについて（案）

1. 委員会スケジュール

第5回検討委員会において、最短スケジュール案として平成29年度中に三次選定まで行うこととし、状況によって延長することとした。次回の現地踏査は積雪時に行うことは困難であり、一般廃棄物処理施設整備基本構想では平成30年度まで用地選定を行う予定となっていることから、今後の委員会スケジュールを表1のとおり変更する。

表1 委員会スケジュール（変更案）

回	実施時期	検 討 内 容 等
5	H29. 5. 9	(1) 用地選定の手法について (2) 一次選定の条件について (3) 平成29年度委員会スケジュールについて (4) 委員会の運営について
6	H29. 10. 5	(1) 各候補地の概要について (2) 一次選定について (3) 二次選定の評価項目について
7	H30. 1. 10	(1) 二次選定について (2) 三次選定の評価項目について
	H30. 4 (予定)	(1) 候補地の現地踏査（二次選定候補地）
8	H30. 5 (予定)	(1) 三次選定について（有力候補地の選定）